

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年7月13日

事業者名: ミズタニバルブ工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	自家消費型の太陽光パネルを設置したり、CO2フリー電力を購入したり、また、森林が吸収できるCO2の量を少しでも増やすことができるように、メンバー1人1人が自分たちの手で2年間どんぐりを育て山に植林する「豊かな森づくり活動」に参加。その後、植林したどんぐりが吸収するCO2をカーボンクレジットとして購入する予定。また、従来は埋め立てとして処分されていた空のドラム缶の100%リサイクル(1. 焼却で発生する熱による発電 2. 資源(鉄)を回収して再資源化 3. 焼却灰を路盤材として活用)も行っている。	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑬気 候変動に具体的な対策を	自家消費型の太陽光パネル:消費する電力の9.9%をまかなっている。(2022年度実績) CO2フリー電力の購入:2023年度は購入する電力の7.7%をCO2フリー電力に置き換える。(2023年9月より実施予定) 豊かな森づくり活動:全メンバー(59名)が1人1鉢どんぐりを育てており、来年早々には第1回目として25鉢を植林する予定。 CO2削減量:2022年度は2020年度基準の△8.1%達成	指標	CO2排出量(スコープ1、スコープ2)
				目標	CO2排出量を年率△4.2%を達成し、2030年度には2020年度比△42%とする。(SBT目標に準じる「世界の平均気温上昇を1.5℃未満に抑える」)
社会	地域の小・中・高校生に経済のしくみやものづくりの楽しさ、世の中には様々な職業があることを知ってもらう機会をつくり、地域社会の担い手育成を支援している。	④質の高い教育をみんなに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	・小学生の工場見学の受け入れ ・小・中学校での出前授業 ・中学校にて経済のしくみを学ぶ「未来創造たまご塾」開催 ・小・中・高校生の「中高生アントレプレナーシップ研修」に参加 ・「小学生ロボコン」名工大杯、岐阜大会に参加 ・幼児向け創造性発育おもちゃ「TEGMII」の公式スポンサーに就任 ・岐阜大学「フォーミュラレーシング部の活動に協賛」 ・高校生・大学生・社会人の交流イベント「UNITE」に参加	指標	「地元小学生の工場見学受入」「地元小学校、中学校での出前事業」「未来創造たまご塾」「アントレプレナーシップ研修」「小学生ロボコン」「UNITE」などのイベントへの参加件数
				目標	2023年度から毎年6件以上に参加
経済	メンバーの資格取得に関する費用を全額会社が負担。また会社がすすめる資格の取得者については毎月の資格手当も支給することでキャリア形成を支援している。 人事評価制度を成長支援制度と名称を改め、評価軸を再定義し明確化した。2024年度から移行 社内コミュニケーションの円滑化のために、毎週火曜日の就業時間内に活発なコミュニケーションを行う「自画自賛日記」を実施している 社内プロジェクトへの参画は指名制ではなく、本人のやる気を重視した立候補制としている	⑧働きがいも経済成長も、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	会社がすすめる資格数 50個 資格取得件数(手当支給者数)のべ70名	指標	メンバーの資格取得件数
				目標	2025年度までに手当支給者数のをべ100名にする
ガバナンス	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> SDGsの達成に向けた取り組みは、役員会議内で協議、決定される。またその計画は「経営計画書」内に明記され、「経営計画書」の内容については1回/年の経営計画発表会にて全メンバーに告知、その後の活動実績報告については1回/週の全体勉強会内で実施している。また必要に応じてプロジェクトを発足させ、同プロジェクト内で検討されるしくみである。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みは、HP内に記載されている。 URL : https://www.mizutani-v.co.jp/company/sdgs/ SDGsをはじめとしたわが社の取り組みはHP内ブログで更新されている。 URL : https://www.mizutani-v.co.jp/information/ その他のSDGsの取り組みの発信方法は、会社案内を活用している。			